

【学校運営協議会資料】

令和2年度 堺東高等学校

第1回 学校運営協議会

書面による協議会の資料

令和2年度 堺東高等学校第1回学校運営協議会を、書面協議会形式にて実施します。意見感想シートについては、7月22日を目途に提出をお願いします。第1回の協議事項は、「今年度の学校経営計画と取組みについて」、「現状報告と今年度の取組みについて」の2点です。各委員のご提言、ご意見、ご感想についてよろしくお願ひいたします。

協議会委員

- 1 津田 謹輔 (帝塚山学院大学 学長)
- 2 田中 誠二 (堺市立晴美台中学校 校長)
- 3 遠藤真砂美 (晴美台1丁北 元自治会長)
- 4 森 繁樹 (本校同窓会長)
- 5 長澤美恵子 (本校PTA会長)
- 6 高谷 翔平 ((株)ベネッセコーポレーション)

事務局

校長 教頭 事務長 首席 企画委員 (学年主任、分掌長等)

【次第】

- 1 校長挨拶
- 2 今年度の学校運営協議会委員及び事務局員の氏名紹介 (書面)
- 3 学校運営協議会の概要について、会長・副会長の選出 (書面)
- 4 令和元年度学校経営計画と取組みについて報告 (書面。校長)
- 5 現状報告と今年度の取組み (各部代表)
- 6 その他、今後の日程

第1回テーマ

「今年度の学校経営計画と取組みについて」

「現状報告と今年度の取組みについて」

■校長より

校長の溝端でございます。委員のみなさま方に置かれましては、お忙しい中、学校運営協議会の委員を承諾いただきお礼申し上げます。

さて、昨年度末から新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から社会は、「ステイホーム」をはじめとして、経済、教育等が大きな影響を受けました。とりわけ学校は、2月末から臨時休業となり、本校の状況を申し上げますと、2月末の卒業式は、在校生の参列をなくして実施、終業式については放送での実施、4月当初の新入生の健康診断まで何とか行うことができました。それ以降も休業が続き5月中旬からの分散登校などを経て6月15日からひとクラス40人での通常授業となりました。

その間、学習課題の郵送やホームページでの課題の指示、動画の配信などを通じて「学び」を途切れさせずに学習の保障をしてきたところです。

また、授業日数・時間の確保についても、本来の65分授業を70分授業として実施することとしました。これにより、土曜日、長期休業をできるだけ確保し、部活動や学校外の活動の保障、さらに行事もできるだけ実施できるようにしています。

今回の協議会は、感染症対策のため書面での実施となりますが、堺東高校がよりよくなるよう、どうかそれぞれのお立場から、忌憚のないご意見を頂きますようよろしくお願いいたします。

■今年度の学校経営計画と取り組みについて(別紙)

【 1、確かな学力の育成と授業改善 】

令和3年度大阪府スマートスクール推進事業で校内の無線アクセスポイントの設置や今後生徒一人一台のICT環境が整備されることから、校内でICT機器等を活用した授業推進する組織（ICT活用プロジェクト）を立ち上げるとともに、令和3年度の創立50周年記念事業においてプロジェクター等のICT機器の整備をお願いしているところです。また、今後新型コロナウイルス感染症の予防の観点から臨時休業になった際にはオンライン授業で実施できるよう、インターネット環境が整っていない場合に備えルーターやパソコンを貸し出せるように環境整備をしました。さらに、その環境を日々の学習にも生かしていくよう研修を行っているところです。日頃の授業では、授業アンケートの年2回実施や公開授業など生徒の声も聴きながら先生方は授業改善を図っています。

【 2、安全で安心な学校づくり 】

本校には「自立支援コース」があり、障がいのあるなしにかかわらず授業をともに受け相互理解を深め、「ともに学び、ともに育つ」教育を推進しています。また、この成果を府内の高校に広げ高等学校の支援教育力の充実に貢献できるよう、教員の他校への派遣等もしています。

通学時の安全確保では、校外に教員が外向く登下校指導を6、8、1月に実施します。それ以外に登校時に安全確保のため正門、通用門に教員が毎日安全指導をしています。さら

に、東側通用門近辺の交通量も多く、自転車が車道を走行するには狭く危ないことから、歩道等自転車の安全が確保できるよう、正門前の歩道延長とともに堺市と協議し、測量等を今年度実施する予定と聞いています。今後も、生徒・地域の安全のためすすめて「安全安心な学校づくり」をしていきたいと考えています。

【 3、夢にチャレンジする積極的な生徒の育成 】

高大連携、いろいろな施設実習、海外研修やオープンキャンパスなど、学校外での活動に積極的に参加する生徒を育成し、生徒の夢の実現に向けチャレンジしていくことは、大切な要素だと考えています。しかし、今年度は新型コロナウイルスの影響でやむなく中止相手方の受け入れ中止も出ております。できる範囲での参加となりますが今後もキャリア教育の充実に努めていきたいと思っております。また、校内の行事については、制限はありますが文化祭、体育祭等できるだけ実施する方向で考えています。

【 4、開かれた学校づくりの推進と情報の発信 】

ホームページのブログや災害時の連絡のために導入した「さくら連絡網」が今回の新型コロナウイルス感染症の臨時休業の連絡手段として威力を発揮しました。また、中学生や保護者対象のミニ見学会や学校説明会ができない中、動画を作成して学校の紹介をホームページで、学校の魅力を中学生等へ情報提供を始めています。

また、学校教育自己診断などを活用して、生徒や保護者のニーズを把握して学校運営に生かしていき「開かれた学校づくり」進めていきたいと考えています。

■ 現状報告 現状説明

■ 新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う臨時休校の状況は？

府立高校の臨時休業については、再三の延長の結果、3月2日～5月31日までが休校となりました。なお、入試受付を3月4～6日、入試を3月11日、合格発表と合格者登校を3月19日に、いずれも「3密」を回避する観点を守りつつ実施しました。4月8日に予定していた入学式は6月15日の本格再開の初日の午後に延期し、保護者も参列し2回に分けて実施しました。

■ 入試（3月11日実施）でのコロナ対策は？

入試当日朝に、検温忘れの生徒への検温とマスク忘れの生徒へのマスク支給を行いました。教室内の定員は40名でしたが、検査室の換気を行い休憩中の会話を控えさせるとともに、休憩中のトイレや廊下等が密にならないように、各受験教室の間に空き教室を挟むようにして行いました。

■ 合格発表と合格者登校（3月19日実施）でのコロナ対策は？

- 午前10時からの合格発表は50名ずつ、20m以上の間隔を空けて6か所に分かれて掲示しました。合格者説明会は、体育館での集会形式は取りやめて、受験番号で前半123名を13時開始、後半120名を14時開始で、12家族ずつ21教室に分かれて行いました。いずれも放送を含めた説明は1時間以内で実施し、その後時間差を設けて物品購入に教員が誘導し、混乱もなく無事に終了しました。

■ 入学式（6月15日実施）のコロナ対策は？ 内容は？

- 4月当初、入学式は「生徒のみの出席で、保護者参列不可」の教育庁からの指示でした。本格再開後の6月15日からは「コロナ対策をとれば保護者参列も可能」との指示が変わったため、校内でも検討を重ねた結果、合格者登校と同様に「2分割」「保護者1名のみ」で実施することしました。今年度から1クラス減の6クラス243名になったことでマスク着用で1m以上の間隔をとること（3連脚に1名ずつ着席すること）が体育館内辛うじて可能となり、前半1・2・3組を13時から、後半4・5・6組を15時から2回に分けて実施しました。月曜日の平日にも関わらず、95%以上の保護者の方に出席いただくことができました。

■ 登校日に何をしたのか？

- 臨時休校中の登校日（授業とはカウントしない）は、2・3年教科書販売を3月23日に、ホームページに掲載や郵送した課題の点検（担任紹介、授業担当者との顔合わせ含む）と健康観察（内科検診含む）を行いました。また、登校日を5月13・14・15・18・19・20・25・26・27・28・29日に設け、一日に1つの学年を3回（9時、11時半、14時）に分けての密を避けて分散登校（3分割。2時間以内）としました。

■ 5月の登校日の分散登校の分け方、欠席状況は？

- 3分の1ずつに分けるため、出席番号で（1～14番）（15～28番）（29～41番）の3グループに分けました。発熱はもちろん、体調不良や体調に不安のある生徒は休むように指示しておりましたが、1クラス40名のうち、欠席者は0～2名程度にとどまりました。

■ 6月12日までの登校日の分散登校の分け方は？

- 6月1日から12日までは授業（1コマ50分）として出席をカウントしますが、3つの学年を午前と午後の2回に分けての分散登校（2分割。2～3時間程度）として実施しました。

半分ずつに分けるため、出席番号で奇数・偶数の2グループに分けました。発熱はもちろん、体調不良や体調に不安のある生徒は休むように指示しておりましたが、1クラス40名のうち、欠席者は0～2名程度にとどまりました。

■ 学習の保障はどのようにしたのか？

- 臨時休業中の課題（宿題）については、2月末のテスト返却日と、3月19日の合格者登校日（1年）、3月23日の教科書販売日等（2・3年）に春休み中の課題（宿題）を配布または指示していました。4月8日から5月6日までは、府下全体で登校が禁止されており、さくら連絡網（LINE やメールを用いた緊急連絡網）や担任からの電話での連絡とともに、1週間ごとにホームページ上に課題や画像を掲示しました。国語などの一部の教科では動画も併せて掲示しました。4月14日には、ゆうパックにて布マスクと課題を全員に郵送しました。5月15日からは前述の分散登校が開始され、その場で課題を配布しました。第2波に備えて、オンライン授業としての課題や画像・動画の送付（Google form）の試行を実施しました。U-tube も活用します。

■ 新型コロナウイルス感染拡大防止のための消毒の状況は？

- 臨時休校中、5月の登校日、6月前半の分散登校の期間は、全教員がゴム手袋着用のおえ次亜塩素酸ナトリウムを用いて教室、廊下、トイレ、階段手すり等の消毒を実施しました。6月後半の本格再開以降は、生徒による清掃に合わせて、清掃区域の担当教員が適宜アルコール等を用いて消毒しています。

保健室は、通常の入口以外に発熱者専用入口を設けました。保健室内部は、透明のシートで二つに分けられ発熱者専用スペースでベッドを設けています。



透明シートを挟んで会話ができるようにしています。発熱者待機専用の第2保健室も設置しています。



学校内の至る所に消毒液、トイレ等手洗い場には石鹸を設置しています。



■ 授業日数の確保は？

- 新聞紙上にも出ておりますように、臨時休業中の授業日数を27日程度確保する必要性がありました。本校では、夏休みの短縮で11日、冬休みの短縮で2日、土曜授業で例年並みの4日を確保しました。さらに残りの10日も当初は土曜授業を考えましたが、学校行事日の確保や部活動の尊重、検定や模試を受験できるようにする観点から、府教育庁とも協議のうえ、当初予定の65分×5限授業を、70分×5限授業に変更することで総時間として残りの10日分の授業時間を確保することができました。

■ 70分授業の日程は？ 生徒の様子は？

- 登校は8時30分から16時までで、そのうち8時45分から15時50分までが70分授業×5限、その前後がHRで一日あたり25分の増加となり16時が終了となります。「1時間の授業時間が長い」、「終了が遅い」との声も聴かれましたが、50分授業の他の高校の多くが、50分×7限で16時20分ごろに解散することにくらべると、20分早く終われます。また、70分の授業内では、マスク内にこもる熱気を逃がしたり、水分を補給したり、換気の時間を確保する観点から、状況を見て数分程度の休憩も挟むようにしています。

■ PTA関係については？

- PTAの総会は、書面での総会といたしました。議事を事前に配布し、書類回収にて新役員ならびに議事の承認をいただくことができました。PTA学級委員を担任から依頼している途中ですがおおむね順調に決まりつつあります。

■ 中学生向けの学校説明会については？

- 中学生向け説明会は、府教育庁から年間1回は計画することとされており、3密を回避する観点から、10月は今回中止とし、11月のみオープンスクールを予定しています。応募人数によっては、密を避けるため時間差の2分割を考えています。土曜日のミニ見学会は、現在中止も含め内容を検討中です。ホームページ上に、説明会で使用した画像内容を含めた動画等の掲示の準備を進めています。

■ 今後の広報はどうするのか？

- 今年度は、7月予定の府教育庁主催の公立高校進学フェア（インテックス大阪）は形式変更でWEB開催となりました。本校も画像や動画も掲示します。8月予定の南エリア合同説明会（堺市立堺高校）や学習塾の合同説明会も全て中止されています。例年訪問している中学校への出前説明会などのPRと充実をめざす予定です。

■ 授業日数の確保が言われる体育祭や文化祭はどうなるのか？

- 4・5月に予定の体育祭、遠足などの行事が臨時休業で中止となりますが、気候のよい10月中旬に体育祭、1年遠足を計画しています。文化祭は準備期間が必要なため、夏休み明けの9月初旬に実施します。

■ 2・3年の遠足は？

- 2年生は10月中旬に修学旅行（3泊4日、北海道）が予定されており、タクシー研修などの施設見学・観光散策も十分に含まれていますので遠足は中止とします。3年生は10月中旬から就職試験や推薦入試が始まる時期と重なるため、やむをえず中止とします。

■ 体育祭はどのように実施するのか？

- 体育祭自体を中止する高校も多いなか、応援での発声や競技中の荒い呼吸など、多くのリスクがあることは事実です。本校としては、応援のあり方や競技種目の精選や時間短縮などを今後検討しつつ、対策を講じながら検討する方向です。保護者の入校も困難な状況です。

■ 文化祭は？

- 文化祭自体を中止する高校もあるなか、体育館での3密や声援、合唱・演劇・ダンス時の発声や呼吸など、多くのリスクが考えられます。本校としては、文化部発表の場の確保、3密を避ける体育館・視聴覚室等のあり方、開会式や出し物の精選などを今後検討し対策を講じながら一日で実施します。なお、食品販売は、新型コロナ感染症拡大防止の観点から中止とします。外部および保護者の来校もなしとします。

■ 中間テストは？

- 前期中間考査は夏休み前の7月下旬に4日間で実施します。

■ 3年生の指定校推薦等の成績算出は？

- 秋から始まる指定校推薦校内選考、就職試験、推薦入試に必要なため、夏休み明けの8月下旬までに特に3年生の成績（仮評定）を算出します。

■ 外部関係機関との連携した実習等は新型コロナ感染症でどうなるのか？

- 外部での実習（病院、保育園、高齢者施設）、高大連携講座（府大の夏季講座、帝塚山学院大の前期講座）、支援学校との交流行事（7月訪問、12月招待）は、いずれも今年度は中止と決まりました。

■ 来年度以降は？ 実施できる講座はあるのか？

- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、来年度以降も再開できるかどうかは未定です。とくに病院・高齢者施設・支援学校での実習や交流は、先方の安全確保の観点から困難な状況が続くものと思われます。

本校生徒だけが参加する形態の「歴史探訪」は現在実施中で、「マリン実習（2泊3日）」は9月末に実施できるか検討しています。

■ 部活動は？

- 学校が全面再開された、6月15日から感染予防対策を講じながら再開しています。7月11日からは、練習試合や合同練習等の対外試合も可能となります。また、運動部では日本協会等のガイドラインに則り、高体連主催の公式戦（3年生向け大会等も含め）が徐々に再開される予定です。

■ 部活動の合宿は？

- 府教育庁より「新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を講じることで合宿実施は可能」とされています。3密解消や消毒はもちろん、部屋定員を減らすなどの宿舎側の条件を満たす必要があります。夏休み期間が10日間と短いため、7月～8月の土日祝を含め一部のクラブが検討しています。

■ 修学旅行（2年生、10月中旬、北海道）は？

- 府教育庁より「新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を講じることで実施は可能」とされています。3密解消や消毒はもちろん、部屋定員を減らすなどの宿舎側の条件を満たす必要があります。現時点での受け入れは可能と現地からの回答が旅行社を通じて確認できていますので、予定通り実施します。

【 生徒支援委員会より 】

- 自立支援委員会と教育相談委員会を統合して3年目になります。スムーズに会議が進行できるよう、5つのグループで事前に検討し、集約してから委員会に報告しています。スクールカウンセラーによる面談は、生徒だけでなく保護者や教員も利用しています。

【 自立支援委員会より 】

- 昨年度の卒業生は2名が就職、1名が進学しました。今年の卒業生は就労を希望しています。「生活」という授業で生活技術の向上を目指していますが、自己理解や障がい受容が十分にできていない生徒もいますので、今後どう指導していくかが課題です。

【 サポート室より 】

- 自立支援コースを設置している学校の中から4校が拠点校となっています。他校の相談に乗ったり、コーディネーター連絡会を主催して情報交換をしたりしています。講演会であれば一度行って終わりですが、相談になると継続して2度3度となることが多く、ケース会議に参加したりすることもあります。

【 1学年より 】

- コロナ禍の学校休業と分散登校ののち、6月15日（月）に、ようやく入学式を挙行することができました。生徒を半数ずつにわたる2部制の形式とはなりましたが、保護者1名の参列を可能とし、新入生の晴れ姿を見ていただけたのはよかったと思っています。

す。

7月初めには、2年生の授業科目をどのように選択するかという科目選択説明会を終えました。今生徒は、教員や保護者と相談しながら科目登録の届け出をどのように出すかについて、頭を悩ませています。入学して間もない時期ではありますが、大学進学や就職といった将来を見据え、総合学科生らしく行動してほしいという教員の思いもあります。真剣に考えて決断してくれることを期待しています。

【 2 学年より 】

- 緊急事態宣言が解除され、通常登校ができるようになり、生徒の笑顔や笑い声が戻ってきました。「3蜜を避け、各自ができる対策をしていこう。」と学年集会でも呼びかけ、感染予防をしています。3か月にも渡る休校期間に生徒の様子に変化していないか、普段の学校生活や個人面談を通して注意深く見ていきたいと思えます。2年生では、「自分の夢を見つける」・「自覚と責任を持つ」・「自己理解・他者理解」をスローガンに掲げ、様々な場面で生徒が自主的・主体的に行動ができるようになって欲しいと思っています。文化祭や体育祭、修学旅行などの学校行事では、生徒が考えて取り組むことができるよう工夫していきたいと考えています。そして、自分の夢(自分の進むべき道=進路)を見つけることができるようにしていきたいと思えます。

【 3 学年より 】

- 分散登校からのスタートで、少人数で授業も行われたので集中して取り組んでいました。また受験生としての自覚もでき、各教科での小テストに対する姿勢も2年次のときとは異なり、きちんと準備して受けており、講座の中でお互いに頑張ろうという雰囲気もあります。また6月末から朝や放課後に希望者受験対策講習が始まり、参加している生徒もいます。クラブ活動にも最後まで参加している生徒もいます。そして休校の間の分を取り戻すかのように友人たちと楽しく明るく学校生活を送っているように感じられます。一方で今回の長い休校で生活リズムを崩し、取り戻せていない生徒がいる点、授業中での取り組みに対してもやる生徒とやらない生徒の差が大きくなっている点を残念に思っています。しかし47期生も来年3月には卒業を迎えます。生徒たちが進路を実現して笑顔で本校を卒業できるように学年団教員一同頑張っていきます。

今年の日程

【第2回】 令和2年 12月 7日(月) 午後2時~3時半

【第3回】 令和3年 2月17日(水) 午後3時~4時半

を予定しています。よろしくお願いいたします。